

定期巡回・随時対応型訪問介護看護 生協くさつ24

介護・医療連携推進会議議事録

2020年2月19日(木) 16:00~17:00

参加者：大迫様、草津かもめ村上、土井山、西村、和田、増村和彦様

作成者：和田

利用状況 (2019年11月~2020年2月)

	利用者数	平均介護度	新規	中止		利用者数	平均介護度	新規	中止
11月	10名	3.2	1	0	1月	10名	3.2	0	0
12月	10名	3.2	0	0	2月	10名	3.2	0	0

平均介護度について質問があり説明した。

佐伯区3件 西区7件

自法人4件

他法人6件(土谷西広島・コモン・ゆたか古江・IGL美鈴が丘・看護協会こい)

新規依頼

新規依頼が減少している中間い合わせが4件ありました。末期がんの方2名、退院間近の方2名でいずれも新規につながりませんでした。在宅でのターミナルケアは、残された時間を住み慣れた自宅で家族と一緒に過ごせることが最大のメリットですが、本人と家族にとって安らぎになると同時に負担も確実に発生します。開始の決断はとてもデリケートな問題です。

緊急通報

用件	11月	12月	1月	2月
転落・転倒	3件	1件	2件	1件
排泄	8件	15件	7件	10件
何も無い	3件	1件	0	0
不安・不調	2件	2件	1件	1件

緊急通報の内容の多くは排便・尿漏れです。夜間の呼び出しも多く、出来るだけ日中(人手がある)に排便があるよう訪問看護に相談しながら、便秘薬でコントロールしますがなかなか予定通りとはいきません。又、夜間は一人勤務の為排泄等の通報は少しお時間を頂くよう(待ち時間)お願いしています。転倒・転落

については、転倒しにくい環境を整えることが重要です。訪問リハビリやデイケアの評価や関係機関の情報をもとにリハビリ会議で情報の共有を行っています。

在宅で安心・安全に過ごせるようそれぞれの方の生活リズムに合わせた支援を目指しています。

ニーズに合わせたサービス提供のための取り組み

パートヘルパー2名へ訪問依頼をしています。今後はヘルパーステーションに訪問を委託することも検討します。

認知症対応について

認知症の老夫婦・独居の利用者もおられます。自宅での生活がいつまで続けられるのかと不安を感じて施設入所も考えておられますが、「やっぱり家がいい。」といつも話されています。出来るだけ長く安心して在宅生活を送れるよう支援することが私たちの役割だと思っています。

独居や老夫婦だけで生活している利用者の緊急時やヘルパーがいない時に何かあった時について質問があった。事前にしっかり確認していることを説明した。

認知症などで拒否がある利用者はどういう経緯で利用が始まるのか質問があった。終末期についてご自分の思いと重ねながら家族や周りに迷惑をかけたくない、病気になった時どこまで治療を受けるのか治療しないと決めていても痛みだけは摂った方がいいお金がないと納得いく介護や医療を受けられないなど老後の不安について話を頂いた。

経営状況

黒字転化へ

生協くさつ夜間対応型ヘルパーステーション

2019年11月～2月

利用者数	中止
4名	0

利用内容

夜間1回(20:00頃)定期訪問をしているご利用者2名、定期訪問がない夜間(18:00～翌8:00迄)のみ対応しているご利用者1名、24時間対応しているご利用者1名です。

定期訪問のないご利用者様宅には2、3週間に1度訪問し身体状況・生活状況の確認を行う事と、通報機器の交換を行うため訪問しています。

夜間の不安解消に役立つサービスですが、なかなかご利用者を増やすことができていません。草津診療所や訪問看護・ヘルパーステーション・24で協力しながら居宅・医療機関への営業を進めていきます。